

USER MANUAL

Heirloom

目次

はじめに	1
動作環境	1
ダウンロードとインストール	4
THE SPITFIRE AUDIO APP	4
SPITFIRE APPの設定	6
専用プラグイン	7
概観	8
プリセット・セレクタ	10
メイン・コントロール	12
シグナル・ミキサー	13
テクニック・セレクタ	16
エフェクト	19
テクニック・エディタ	20
トップ・メニュー	22
マイク・シグナル	29
マイクのグルーピング	31
リバーブ項目	32
付録	33
テクニック、マイク、ミックス	33
FAQとトラブルシューティング	34
デフォルトのCCマッピング	40

はじめに

高名なアーティストKeaton Hensonの心、魂、そして感性から生まれた、美しい人間らしさをあなたの音楽表現に加えるための作曲ツールキット。

本ライブラリは、繊細なストリングス、荒々しい木管楽器、心を揺さぶるピアノ、そして心をつかむギターのサウンドを収録しており、これらはロンドンの壮麗なChurch Studios (Adele, The XX, Nick Cave and the Bad Seedsの録音が行われた) で収録されました。このライブラリは、人間味の宿る音楽表現を念頭に置いて設計され、レコーディングされた演奏にはにじみ出る人間的な瞬間が込められています。現代的でありながら、感情豊かな作曲に最適であり、このライブラリは、まるで父親のお気に入りの椅子の擦り減った座面のような、記憶と痕跡を残した音の世界です。もしかすると、もうそばにはいないけれど、決して忘れ去られることのない存在の跡が刻まれています。

動作環境

Mac

- macOS 10.13~12
- 最小: 2.8GHz i5 (クアッドコア)、8GB RAM
- 推奨: 2.8GHz i7 (6コア)、16GB RAM、Apple Silicon、64bit

Windows

- Windows 7, 8, 10, 11 (最新のサービスパック、64ビット)
- 最小: Intel Core 2.8GHz i5 (クアッドコア)、またはAMD Ryzen 5
- 推奨: Intel 2.8GHz i7 (6コア) またはAMD R7 2700

- 要インターネット接続
- 34.18 GB ライブラリ・サイズ
- 専用プラグイン (AU, VST2, VST3, AAX)

⚠ 最新の対応状況については製品ページをご確認ください。

複雑な感情をシンプルに表現

本ソフトウェアは、言葉にするのが難しい感情を表現するのに最適であり、複雑な存在論的感情や人間の本质、時間の経過に対する考察を捉えます。

収録された演奏のクオリティは純粹でありながら広がりがあり、感情豊かなスコアリングに最適です。この特性により、どの作曲家のシグネチャー・サウンド・パレットにも自然に馴染み、支配することなく補完します。

本ソフトウェアには、家庭的な快適さが強く感じられ、魅力的な親しみやすさがあり、作曲家がシンプルな編成でこれらの音を使用する際にも心地よさを感じられます。美しく荒々しい木管楽器、繊細なストリングス、心を揺さぶるピアノ、豊かなギター・トーンとテクスチャー。これらはすべて、Keaton Hensonが人間味を重視し、その微細な録音の痕跡を捉えるために選びました。

このサウンド・コレクションは、作曲を始めるための理想的な出発点であり、新たなインスピレーションや多用途な素材をサウンド・パレットに加えるための完璧なツールです。

音符の間隙を描く

このライブラリの独自の美しさは、完璧ではない部分にあります。音符の間にこそ、人間的な瞬間が感じられ、思わず立ち止まることでしょう。演奏家たちと彼らの楽器による、演奏中の自然な音がキャプチャーされています。新しく、今までとは別の表現技術を捉えることで、このサウンド・ライブラリには優れた基盤が提供されており、弊社は、スタジオ・セッションで見出したいいくつかの小さく、精巧に演奏された瞬間も巧みに収録しています。これには、スウェルやチャイム(のような音色)などが含まれ、こうしたフォーカス要素が、作曲をさらにリアルで人間らしいものにします。

Heirloomには、8人のストリングス・プレイヤー(3×バイオリン、2×ビオラ、2×チェロ、1×ベース)、コントラバス・クラリネットやチュバックスを含む木管楽器、そして心を打つ美しいピアノ(ライブラリの中心となります)とギターが含まれます。これらはすべて、ロンドンのChurch Studiosで、才能溢れるFiona Cruickshankによって精密に録音されました。

アンサンブルは小さく、近距離で録音され、決して大音量で演奏されていません。このため、演奏の距離感が損なわれることなく、感情的に壮大なサウンドを作り出すことができます。

過去、現在、そして未来

すべてのミュージシャンは、録音スタジオが神聖な場所であることを知っています。The Churchはまさしくその通りであり、ロンドン北部にある美しい古い礼拝所で、170年間にわたり石の壁とスタンドグラスが、祈りのみならず、これまでに作られた偉大な音楽の響きを反響させてきました。今日、Church Studiosで録音するということは、Adele, Bob Dylan, Radiohead, Florence + the Machine、そしてNick Cave and the Bad Seedsといった音楽史に名を刻んだアーティストたちの歴史に参加することを意味します。

今、Keaton Henson (『Supernova』『Six Lethargies』、および高く評価された7つのソロ・アルバムの制作者)が、その伝統を引き継ぎ、数十年にわたる音楽性と弊社との媒介者として、自身の芸術的な視点と不完全さの美しさへの敬意を経由する形で、このラインを形作っています。そして、綿密な計画にもかかわらず、本当のコラボレーションの性質により、Heirloomはその実体と多様性において、クリエイターたちさえも驚かせており、今後も何年にもわたり、物語の中でその存在が交錯し続けることでしょう。

ダウンロードとインストール

Spitfire Audio Appを[ダウンロード](#)すると、アプリを通じてライブラリをダウンロードできるようになります。

THE SPITFIRE AUDIO APP

アプリを起動して、弊社のWebサイトと同様にログインしてください。

Sign In

E-mail

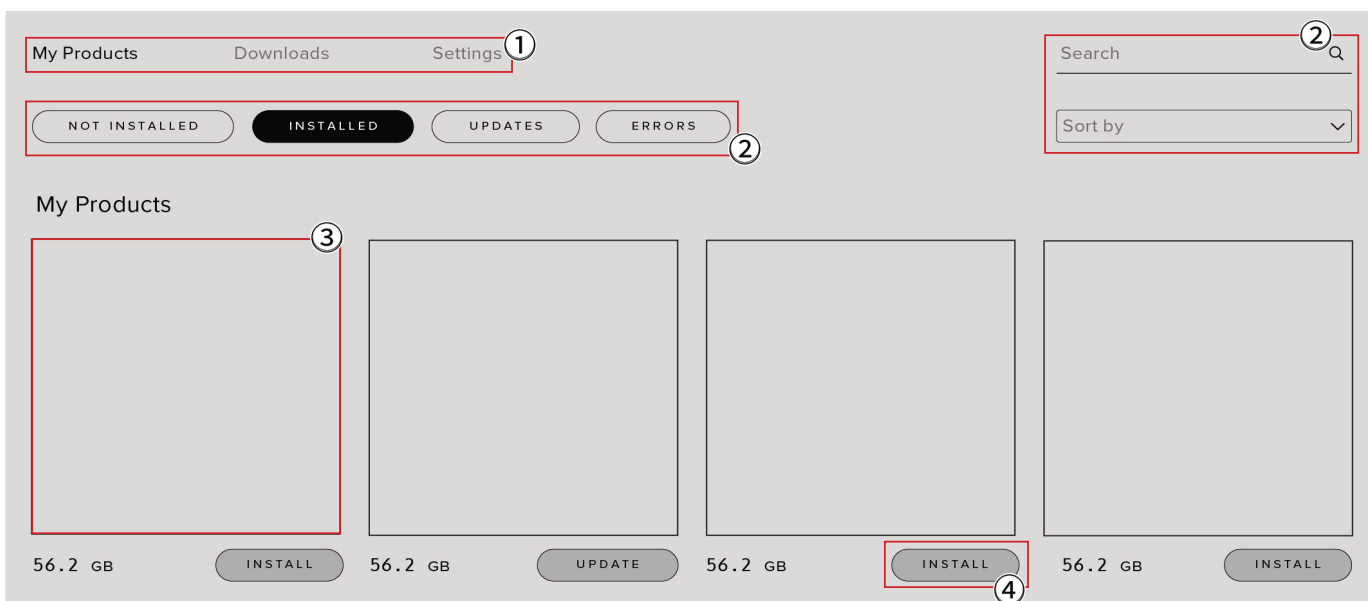
Password

[FORGOT PASSWORD](#)

[REMEMBER ME](#)

[CREATE ACCOUNT](#)

[LOGIN](#)



① タブ

デフォルトは**My Products**です。**Downloads**には、ダウンロード中の製品が表示されます。

② フィルタ

フィルタをクリックして、まだインストールされていない製品、インストール済みの製品、利用可能なアップデートが表示されます。再度クリックしてフィルタを解除します。

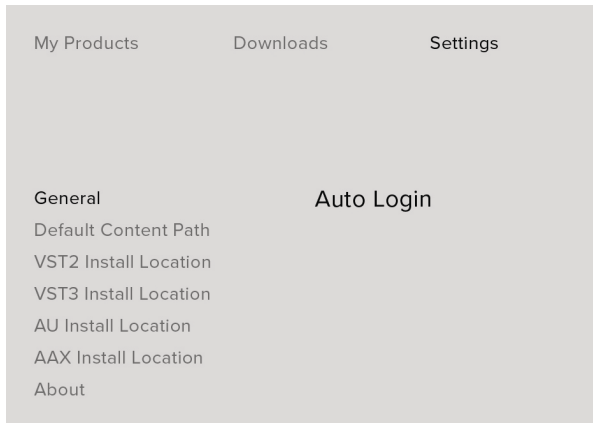
③ ライブラリ

コレクション内のすべてのライブラリとプラグインが、アートワークと共に表示されます。アートワークをクリックすると、製品ページが開きます。システム要件や説明書、リセットや修復オプションなどの情報を見つける際に使用します。

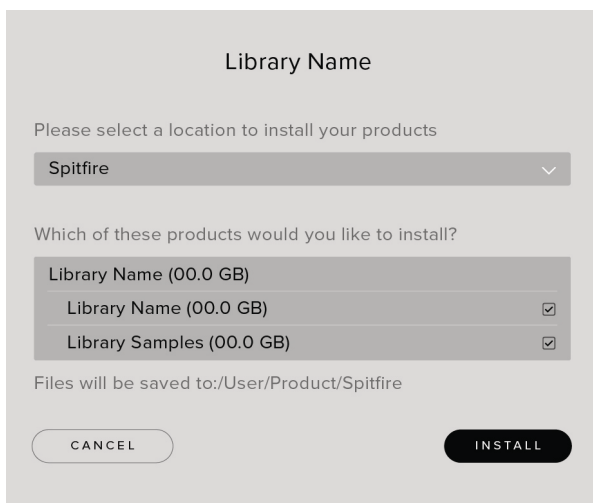
④ [INSTALL]／[UPDATE]

ボタンをクリックすると、ライブラリに移動する代わりに、**My Products**タブから直接ダウンロードを開始できます。ボタンの横には、ダウンロード時のサイズが表示されます。

SPITFIRE APPの設定



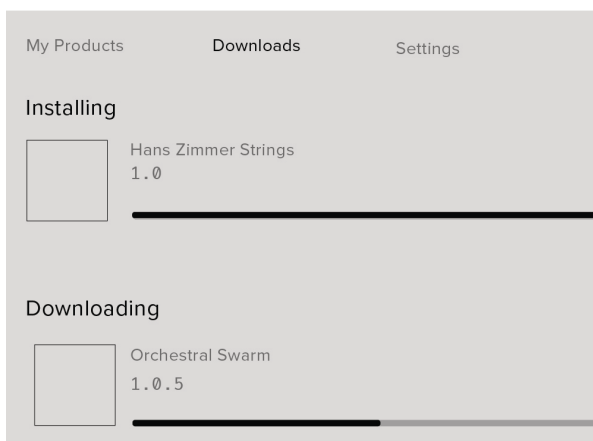
Spitfire Audio Appを初めて利用される場合、まず**Settings**タブを開いてください。ライブラリのダウンロード時のDefault Content (デフォルト・コンテンツ)の場所や、プラグイン (VST2, VST3, AU, AAX) のインストール先を設定できます。**Auto Login**を有効にすると、次回以降のログイン時間が短縮されます。



設定の完了後、[INSTALL]ボタンをクリックします。このボタンは、ライブラリのアートワークの下の**My Products**タブ、または各ライブラリ・ページに表示されます。

クリック後、インストール先を指定します。上述のデフォルト・コンテンツの場所以外に、ここでは任意の場所を指定できます。[HDD Install]選択時にも適切なインストール場所を指定してください。

インストール先が決まったら、[DOWNLOAD]をクリックします。



Downloadsタブが表示されます。他のタブに切り替えて別のダウンロードを開始することもできますが、Spitfire Audio Appは終了しないようにしてください。

専用プラグイン

本製品は、VST, AU, AAX用のまったく新しいプラグインです。

- ⚠ これらの動作は各DAWのバージョンやOSまたはソフトウェアの表示言語によって異なる場合があります。
詳しくはお持ちのDAWに付属する各マニュアル内の該当ページをご確認ください。

LOGIC PRO X

- 新規トラックのダイアログ・ボックスを開きます。
- [ソフトウェア音源]を選択し、[インストゥルメント]ドロップダウンの下を見てください。
- AU Instruments > Spitfire Audio > Heirloomを選択。

CUBASE

- トラック・ウィンドウを右クリックし、'Add Instrument Track'を選択します。
- [インストゥルメント]ドロップダウンの下のHeirloomを選択。
- Add Trackを選択。

PRO TOOLS

- 画面上部の'Track'メニューから'New'を選択。
- ポップアップでStereoとInstrument Trackを選択し、'Create'を押します。
- 最初のInsertスロットで、マルチチャンネル・プラグインを選択し、'Instrument'を選択。
- Heirloomの選択肢を開けます。

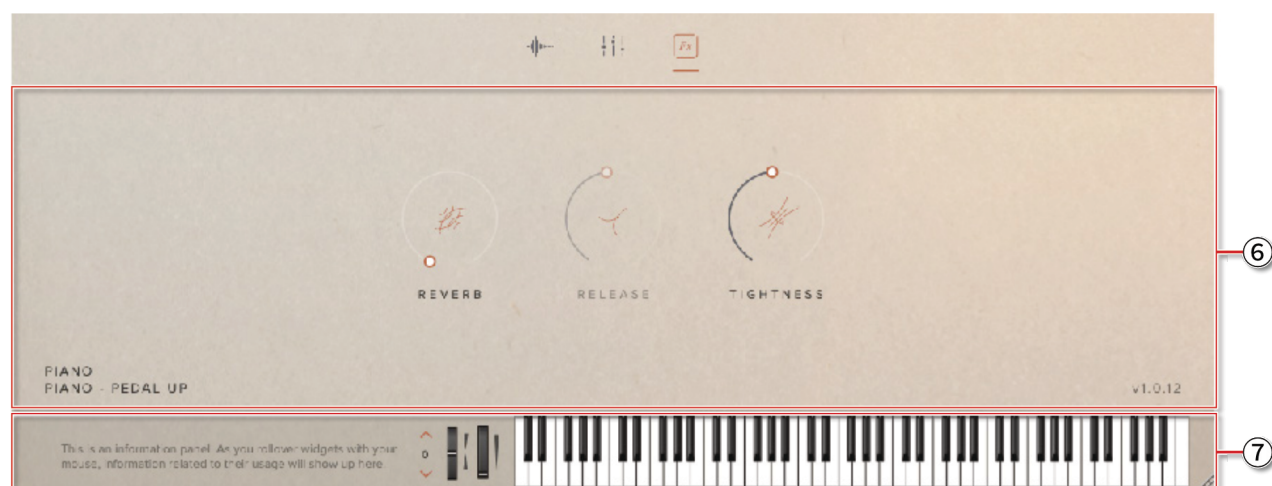
概観



- ① トップ・メニュー
- ② プリセット・セレクタ
- ③ メイン・コントロール
- ④ テクニック・セレクタ



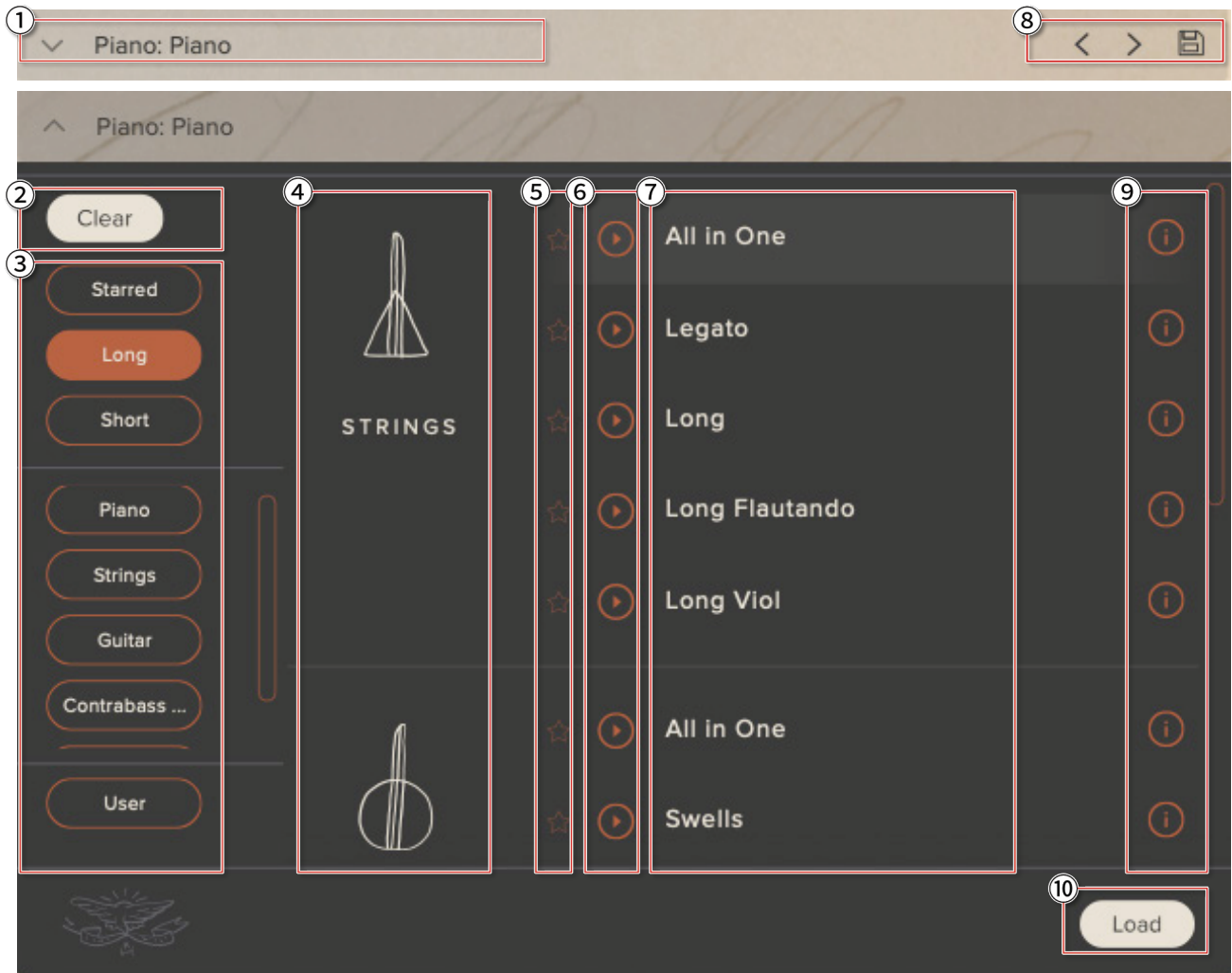
⑤ シグナル・ミキサー



⑥ コントローラ

⑦ キーボード、INFO (情報)

プリセット・セレクタ



① プリセット名

選択中のプリセットを表示。

② フィルタをクリア

すべてのインストゥルメントをまとめて表示。

③ フィルタ

クリックすると、各フィルタでグループ化されたプリセットのみを表示。

④ インストゥルメント・グループ

利用可能なプリセットをスクロールすると、インストゥルメント・グループがここに表示されます。

⑤ お気に入り

☆ボタンを押して、お気に入りとしてフィルタに追加。

⑥ プレビュー

プリセットを読み込むことなく、そのプリセット音色の短い例を再生。


⑦ プリセット・リスト

プリセット・リストをスクロール表示します。プリセットをロードするには、リスト項目をダブルクリックするか、[Load]ボタンをクリック。

⑧ 前、次、保存

プリセット・ビューを折りたたむと、3つのアイコンが表示。

前[<]と次[>]は、単に次の利用可能なプリセットに移動します (フィルタ有効時、フィルタ結果のプリセット・リストをスクロール)。

保存ボタンをクリックし、プリセットに名前を付けると、Userフィルタの下に表示。

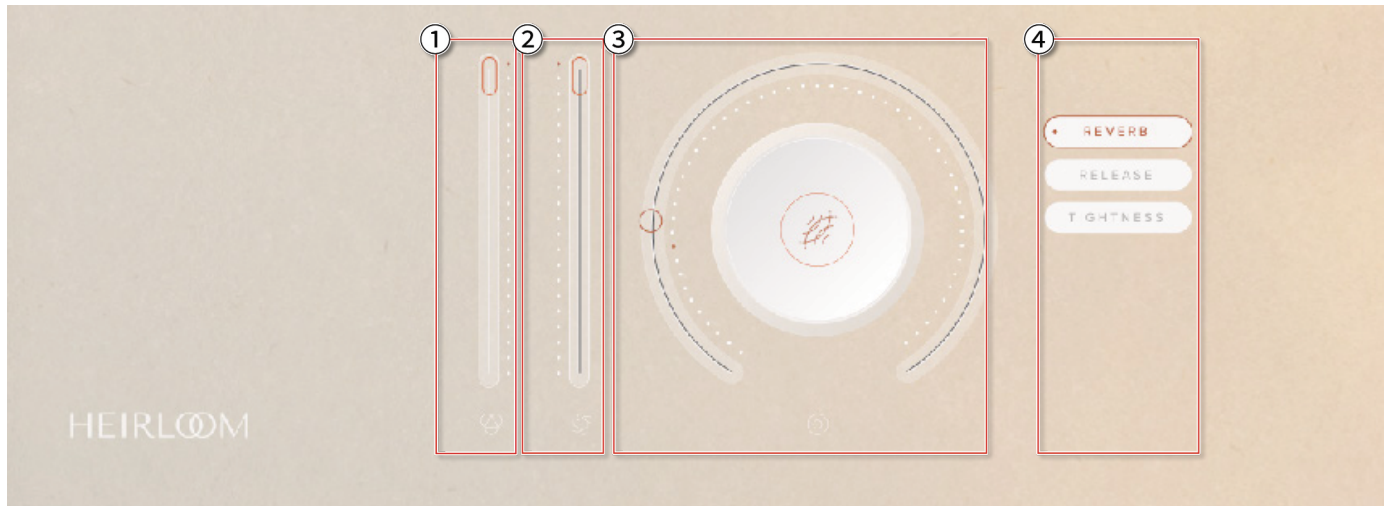
⑨ 情報

①アイコンにマウスオーバーすると、プリセットの関連情報を表示。

⑩ ロード

プリセットを選択し、ロードする際に押すボタン。

メイン・コントロール



① ボリューム

一般にExpressionと呼ばれるシンプルなレベル・コントロール。

② ダイナミクス

演奏中のダイナミック・レイヤーを調整。ボリュームと組み合わせて使用すれば、演奏がより音楽的に。

③ ノブ

自由に設定可能なノブで、特定のテクニック（奏法）で使用可能な各種パラメータをコントロールできます。ノブにマウスオーバーすると黒色になります。

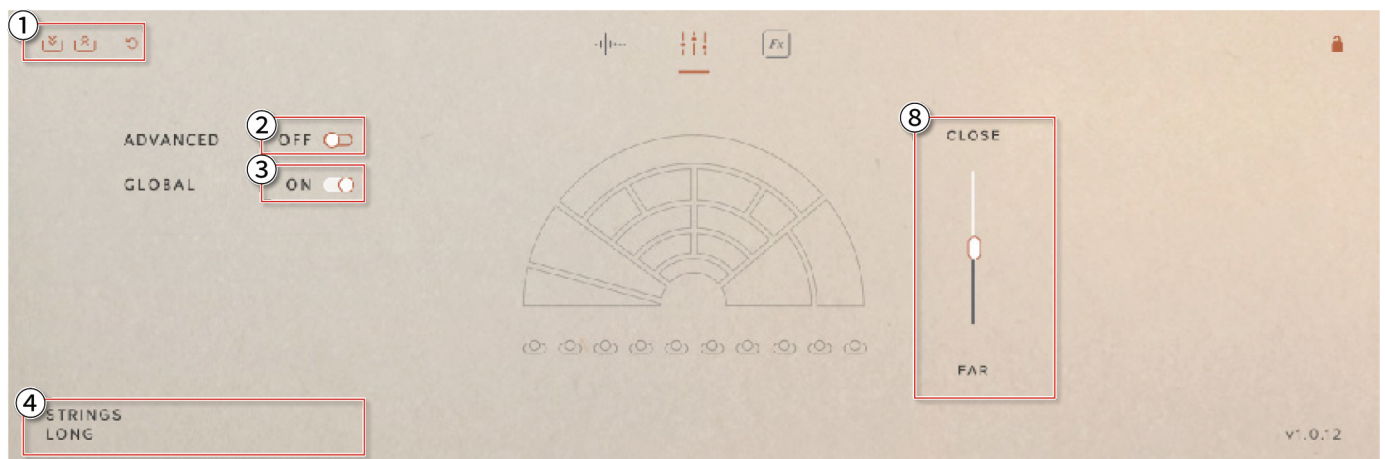
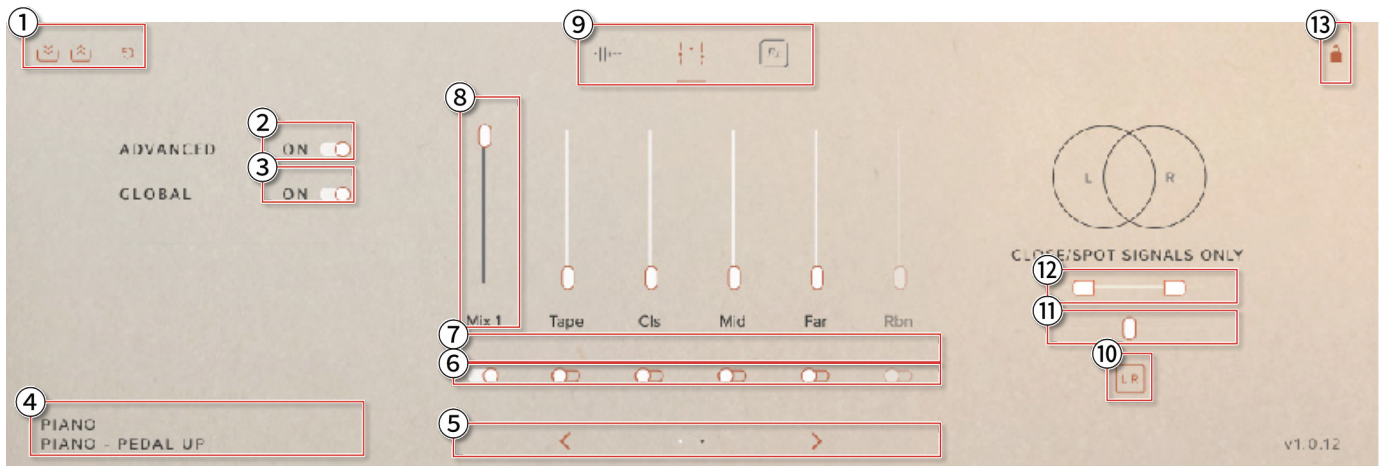
④ 機能の割り当て

クリックすると、利用可能なコントロールのいずれかをノブに割り当てられます。

💡 これらのコントロールは、右クリックして表示されるメニューから設定することで特定のMIDIコントローラにアサインできます。

💡 MIDIコントローラをノブにアサインしたとき、そのMIDIコントローラはノブ自体にアサインされるのではなく、ノブにアサインされたパラメータに紐づけられる点にご注意ください。

シグナル・ミキサー



① ミキサー・プリセット

異なるインストゥルメントやプリセット間でミックス設定を共有する際に便利です。☑️をクリックすると保存され、☒️をクリックするとロードされます。

プリセットの名称変更、削除を行うには、OSごとのファイル・システム上でHeirloom > Presets > Mixとフォルダに移動し、mpresetファイルを編集します。

② 詳細設定

デフォルトでロードされるビュー。Close, Tree, Ambientの各シグナルの音量をフェーダーで操り、楽器の音の近さを調整できます。

③ グローバル

ミキサーに加えた変更が、プリセット内のすべてのテクニックに反映されます。Offにすると、ミキサーへの変更は選択したテクニックのみに影響します。

④ テクニック名

⑤ シグナル・ナビゲーション

右矢印>をクリックして追加シグナルにアクセスできます。未使用のシグナルは灰色で表示されます。

⑥ シグナルのOn/Off

ここでシグナルのOn/Offを切り替えます (フェーダーを上げることでOnになります)。シグナルをOnにした場合、完全に有効になるまで時間差がありますので、Heirloomの左上の LED を注視してください。

⑦ マルチ出力

アクティブな状態でシグナル・フェーダーの下をクリックすると、そのシグナルを別のステレオ出力にアサインできます。DAW でのミキシング時における自由度が向上します。

⑧ シグナル・フェーダー

ここで各シグナルのレベルを調整します。右クリックでMIDIラーンできます。

⑨ ビュー選択

テクニック・スイッチャー、ミキサー、エフェクトを切り替えます。テクニック・セレクトとエフェクトについては別項参照。

⑩ 左右チャンネルの反転

左右のチャンネルを入れ替えます。

⑪ パン

ステレオ・フィールド内での近接シグナルとスポット・シグナルの位置を調整します。

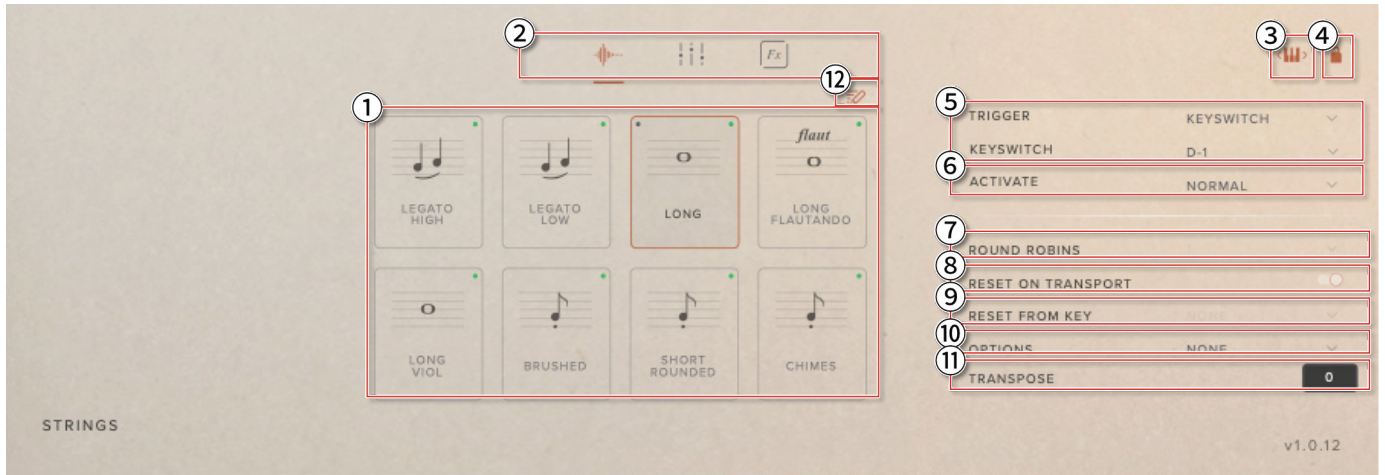
⑫ ステレオ幅

近接シグナルとスポット・シグナルのステレオ幅を調整します。右クリックでMIDIラーンできます。

⑬ ロック

ミキサーをロックし、ミキサーへの変更を禁止します。MIDIコントローラによる変更も防げますが、ミキサーのロックを解除するとすぐにコントロールがアクティブになってしまうのでご注意ください。

テクニック・セレクト



① テクニック・スイッチャー

クリックしてテクニックを選択。Shift+クリックで複数のテクニックを選択できます。左上の赤い点は、再生されるテクニックを示し、アウトラインは、このページ上での他のオプションからの設定変更を示します。

② ビュー選択

各機能ビューを切り替え。各機能については該当項を参照。

③ キースイッチ調整

クリック&ドラッグでキーボードのキースイッチを左右に移動します。

④ ロック

テクニック・セクションがロックされ、不要な変更を防ぐことができます。

⑤ テクニック・トリガー

様々なパラメータを使用してテクニックをトリガーできます。

KEYSWITCH	キーボードのキーで各テクニックを選択。選択されたキーは、未選択のテクニックでは緑色、選択されたテクニックではオレンジ色で表示されます。
CC RANGE	コントロールのCCと値の範囲(または単一の値)でテクニックを選択。
VEL. RANGE	演奏の強さに応じてテクニックを選択。ソフトに演奏するときはロングを、ハードに演奏するときはピチカートをトリガーするとよいでしょう。
MIDI CHANNEL	入力されるMIDIチャンネルに基づいてテクニックを選択。
SPEED	演奏速度に応じてテクニックを選択。特定のテクニックに切り替えるためのノート間の時間間隔を指定してください。
PROGRAM CHANGE	プログラム・チェンジに基づいてテクニックを切り替え。

⑥ アクティブ

NORMAL	次のキースイッチが押されるまで、そのアーティキュレーションを維持。
LATCH	キースイッチのキーを押している間だけ、そのアーティキュレーションを維持。

テクニックの切り替えを "NORMAL"と"LATCH"で切り替えます。

⑦ ラウンドロビン

繰り返されるノートが機械的で不自然に聞こえないようにする手法。同じノートを演奏するたびに、同じ音程、同じアーティキュレーションの別のサンプルが順番に鳴ります。ここでは、そのバリエーション数を調整できます。

⑧ トランスポートでリセット

DAWのトランスポートの再生ボタンを押すたびに、ラウンドロビンのバリエーションがリセットされるようになり、毎回同じ再生結果が得られるようになります。

⑨ キーからリセット

キースイッチを使ってラウンドロビンをリセットできます。ここではそのキースイッチを選択。

⑩ オプション

NEIGHBOUR ZONE RR	隣の音から音を借用し、ピッチに合わせて移調することで、ラウンドロビン数を稼ぎます。
LAYER X2	ラウンドロビンを2つ重ねて音を厚くします。ラウンドロビンの1/2のペアの後に3/4のペアを再生するため、ラウンドロビン数は実質的に半分になります。
LAYER X2 (NO SKIP)	上記と同様ですが、1/2のペアの後に2/3のペアが続くため、ラウンドロビン数は保持されます。
LAYER +2	演奏されたキーの2つ上のサンプルをラウンドロビンとして使用します。サンプルは再生に適したピッチに移調されます。
LAYER -2	演奏されたキーの2つ下のサンプルをラウンドロビンとして使用します。サンプルは再生に適したピッチに移調されます。

⑪ トランスポーズ

1半音単位で上下にトランスポーズします。このコントロールはサンプルをストレッチするのではなく、入力された MIDI ノートをトランスポーズします。

サンプルを調整するには、TUNE ノブを使用します。

⑫ テクニック・エディタ

テクニック・エディタを開き、プリセットのカスタマイズや編集を行います。

エフェクト



① ビュー・セレクト

テクニック・セレクト、ミキサー、エフェクトから選択。テクニック・セレクトとミキサーについては別項参照。

② テクニック名

③ リバーブ

リバーブの適用量を調整。リバーブの種類はトップメニューのREVERBドロップダウンで変更可能。

④ リリース

リリース・トリガーの音量を調整。Longパッチでのみ適用。

⑤ タイトネス

ノートをよりタイトにしますが、リアリズムを損なう恐れもあります。

テクニック・エディタ

ここでは、現在のプリセットからテクニックを削除したり並べ替えたりできます。




① カテゴリー

特定のプリセットで利用可能なすべてのテクニックをフィルタリングできます。

② テクニック

各プリセットで利用可能なすべてのテクニックが表示されます。[+]をクリックすると、現在のプリセットにテクニックを追加できます。

③ テクニック・アレンジャー

現在のアーティキュレーションが表示されます。クリックしてドラッグすると、クリック&ドラッグで順番を並べ替えできます。右上隅の[×]をクリックしてプリセットからテクニックを削除、上のゴミ箱アイコンをクリックしてすべての奏法を完全に削除します。

④ キャンセル／保存

編集が完了したら[Save] (保存) をクリックします。保存したくないときは[Cancel] (キャンセル) を選択すると、元の設定に戻ります。

トップ・メニュー



① LED

インストゥルメントがロードされると緑色に点灯します。

② CPU メーター

CPUに負荷がかかると、メーターの隣が赤くなります。

③ DISKメーター

ドライブへの負荷が100%に近い、または100%を越す場合、高速なドライブの導入をご検討ください。

④ メモリ

使用中のRAMの容量を表示します。プリセットのロード時、メモリにロードされているインストゥルメントを表示します。

⑤ ボイス数

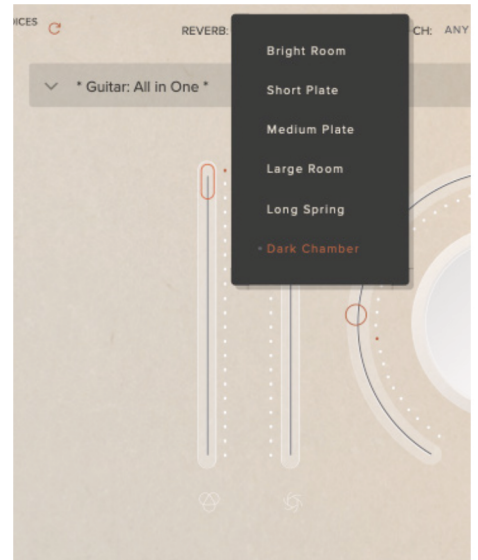
使用されている発音数を表示します。

⑥ リフレッシュ

インストゥルメントをリフレッシュします。Alt/option+クリックでプラグイン全体をリフレッシュします。MIDI ノートがハングアップしていたり、システム内のサンプルを移動した際に使用してください。

⑦ リバーブ・タイプ

複数のインパルス・レスポンスから、使用したいリバーブのタイプを選択します(右図)。



⑧ MIDIチャンネル

インストゥルメントを制御するMIDIチャンネルを設定します。anyを選択すると、インストゥルメントはすべての MIDI メッセージに反応します。

⑨ チューニング

ノブを動かして半音単位でチューニングします。Shift+クリックすると、0.01半音単位でチューニングできます。Alt+クリックするとデフォルトに戻ります。

⑩ パン

ステレオ・フィールドで出力信号全体を左右にパンします。Alt+クリックすると中央値に戻ります。

⑪ ボリューム

インストゥルメント全体の音量を調節します。

⑫ レベル

出力信号のレベルを視覚的に示します。

⑬ プリセット設定

① ダイナミクス動作

ダイナミクス・フェーダーの動作を指定。異なるレイヤーをトリガーする際に弾くその強さを指定します。ダイナミクスにマッピングされたベロシティでは、ショート・ノートのベロシティをモジュレーション・ホイールでコントロールできます。

- FULL VELOCITY RANGE
- VELOCITY MAPPED TO DYNAMICS
- COMPRESSED VELOCITY HIGH
- COMPRESSED VELOCITY LOW

② ベロシティ

コントローラのタッチに合わせて4つのベロシティ・カーブから選択。

③ CC マッピング

- [RESET]: 当該インストゥルメントのすべてのCCマッピングがデフォルトに設定。
- [CLEAR]: プラグインのCCマッピングをすべて削除。

④ ショート・リリース

リリース・サンプルを調整。

- TIMED: ノートの長さが300ms未満のときリリース・トリガーを再生し、元のサンプルを節約。
- UNTIMED: ノートの長さに関係なくリリース・トリガーを再生。
- NONE: ワンショット。

⑤ テンポ同期

ホストBPMに同期。デフォルトでOnで、このライブラリでは変更できません。

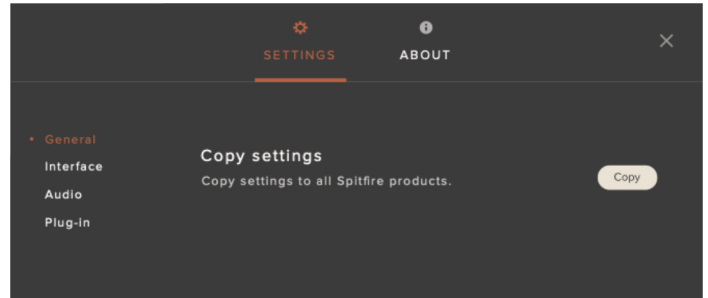


⑭ プラグイン設定

General

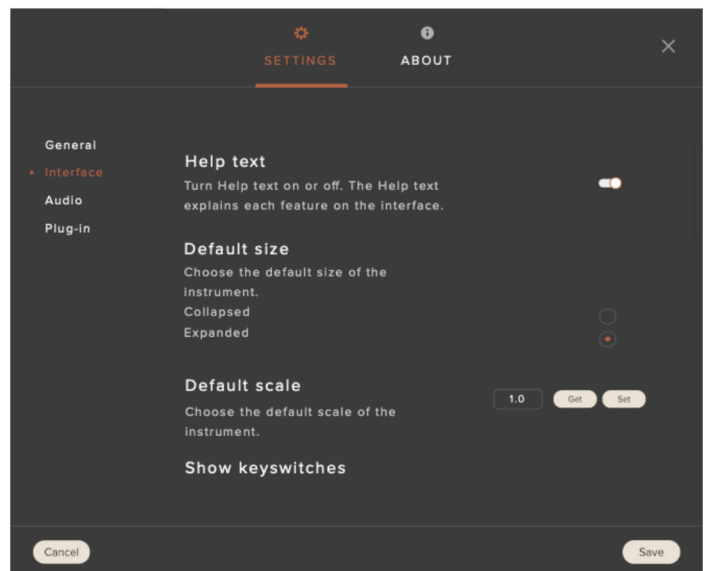
■ Copy settings (設定のコピー)

コントローラの共通設定を他のSpitfireプラグインにコピーします。

Interface

■ Help text (ヘルプ・テキスト)

プラグインの左下にパラメータ情報を表示します。



■ Default size (デフォルト・サイズ)

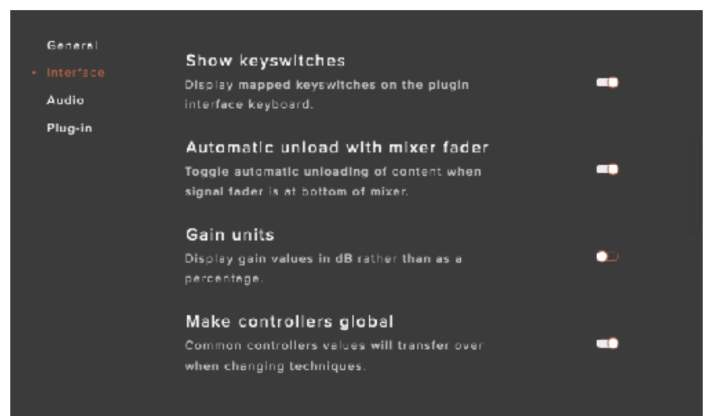
インストゥルメントがデフォルトで折りたたまれた状態で開くか、展開された状態で開くかを設定します。

■ Default scale (デフォルト・スケール)

プラグインUIを開いたときの大きさ。[Get]を押して現在のスケールを設定するか、値をタイプしてから [Set]と[Save]を押してください。

■ Show keyswitches (キースイッチ表示)

有効にすると、複数のテクニックを持つプリセットは、利用可能なキースイッチを赤で、選択中のテクニックを黄色で表示します。



■ Automatic unload with mixer fader (ミキサー・フェーダーでアンロード)

フェーダーを完全に下げた時に、RAMからデータをアンロードするようになります。

■ Gain units (ゲイン単位)

ゲインをパーセントではなくdBで表示できます。

■ Make controllers global (コントロールをグローバルに)

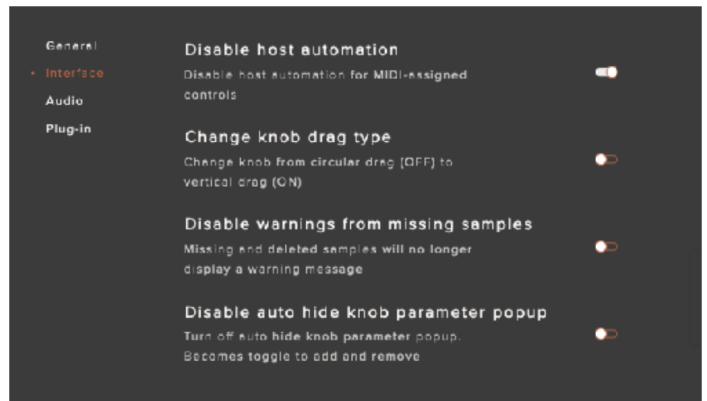
テクニックを切り替えてもコントローラの共通値を保持します。

■ Disable host automation (ホスト・オートメーション無効)

DAWからのホスト・オートメーションの有効／無効を切り替えます。

■ Change knob drag type (ノブのドラッグ・タイプを変更)

ノブをドラッグ操作するときのマウスの動作を変更します。



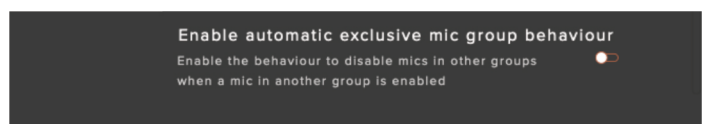
■ Disable warning from missing samples (サンプルの欠落による警告の無効化)

ライブラリのコンテンツが欠落している場合に表示されるプラグイン左上のエラーを非表示にします。

■ Disable auto hide knob parameter popup (ノブのパラメーター・ポップアップの自動非表示)

有効の場合、ノブをクリックすると常にコントロールメニューが表示されます。

■ Enable automatic exclusive mic group behaviour (マイク・グループの自動排他動作を有効化)



マイクのグループ化を解除したい場合は無効にしてください。例えば、AMBIENTマイクを有効にすると、POPマイクのグルーピングは無効になります。

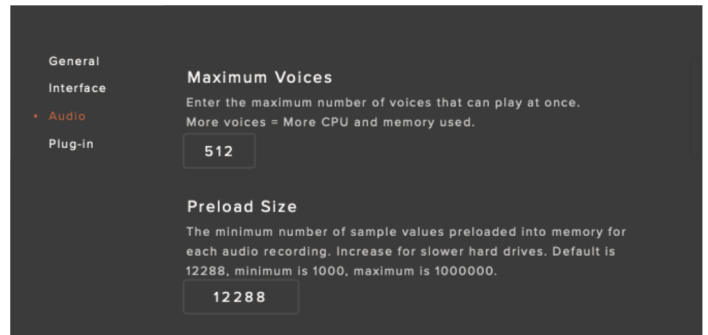
Audio

■ Maximum Voices (最大ボイス数)

一度に演奏できるボイスの最大数を入力。発音数が多いほどCPUとメモリの使用量が増えます。

■ Preload Size (プリロード・サイズ)

各オーディオ録音のためにメモリにプリロードされるサンプル値の最小数です。ディスク・ドライブが遅い場合は値を増やしてください。デフォルトは12288です。

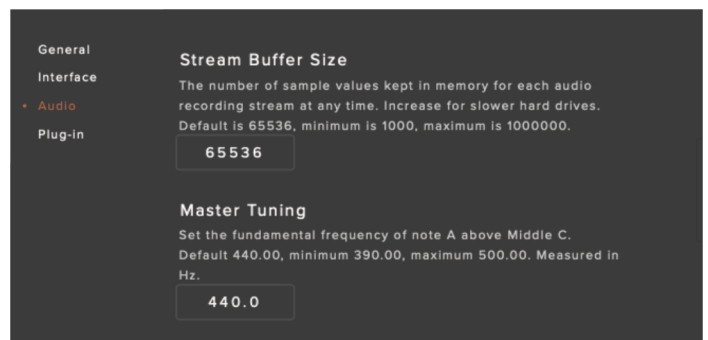


■ Stream Buffer Size (ストリーム・バッファ・サイズ)

各オーディオ録音ストリーム (サンプル) がメモリに保持されるサンプル値の数。低速のディスク・ドライブでは値を大きくしてください。

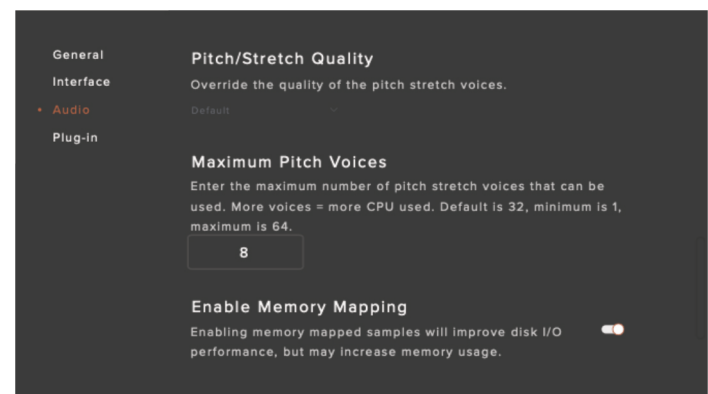
■ Master Tuning (マスター・チューニング)

プラグインのデフォルト・チューニングを変更します。例えば、A = 440HzまたはA = 432Hz。



■ Pitch/Stretch Quality (ピッチ／ストレッチ・クオリティ)

デフォルトのピッチ／タイム・クオリティを調整して、パフォーマンスを向上させたり、オーディオ・クオリティを改善することができます。使用するライブラリによっては非対応です。



■ Maximum Pitch Voices (最大ピッチ音色)

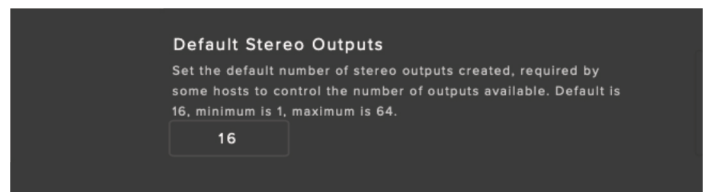
一度にトリガーされるボイス数を制限します。値が低いほどCPUの負荷を軽減します。

■ Enable Memory Mapping (メモリ・マッピングの有効化)

Windowsマシンではオフにするとパフォーマンスが向上します。

■ Default Stereo Outputs (デフォルト・ステレオ出力)

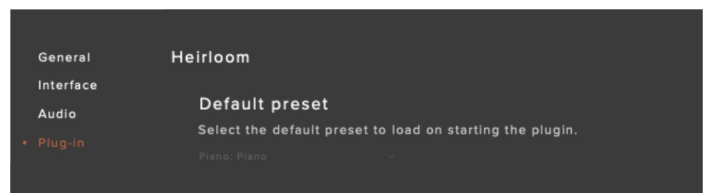
マイク・ルーティングのデフォルトの出力数。



Plugin

■ Default preset (デフォルト・プリセット)

プリセット名をクリックし、リストからお好みのプリセットを選択してください。



マイク・シグナル

MIX 1

セクションに合わせて調整されたタイトなミックス。クリーンで存在感があり、バランスのとれたサウンド。

TAPE

テープで強力に加工。アーティファクトが豊かな個性的なミックス。

CLOSE

各セクションに合わせて調整された近接コンデンサー・マイク。

MID

中域のマイク。近接シグナルに少し広がりのある空間的な奥行きを加えるのに便利。

FAR

室内で最も遠い位置のマイク。

RIBBON

指揮者位置に設置したステレオ・リボン・ペア。

LISTENER

別の部屋にいるリスナー位置に設置。まるで立ち聞きしているようなサウンド。

PLAYER

プレーヤー位置。近距離で独特なサウンド。

PEDAL

ペダルの隣に置かれたコンデンサー・マイク。ペダルの物理的な音を収録。

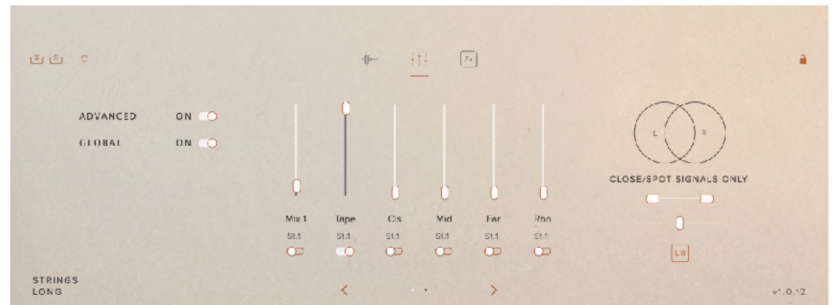
マイクのグルーピング

シグナル名	UI上の略記	マイク・グループ
MIX 1	MIX 1	A
TAPE	TAPE	B
CLOSE	CLS	C
MID	MID	C
FAR	FAR	C
RIBBON	RBN	C
LISTENER	LSTN	C
PLAYER	PLYR	C
PEDAL	PED	C

グループは、すべてのシグナルが有効になるとアクティブになります。以下はGROUP Bの場合です。

各シグナルの下にあるアクティブ・トグルを見れば、どれが有効になっているか一目瞭然です。

異なるマイク・グループのシグナルをOnにすると、例えばグループCのCLSをOnにすると、GROUP Bのすべてのシグナルが自動的にOffになります。



リバーブ項目

BRIGHT ROOM

短い、明るい室内。部屋の音響特性に合わせて調整された音を再現。

ABRUPT PLATE

短く、高域の減衰したプレート・リバーブ。タイトな質感を追加。

SILVER PLATE

長いプレート・リバーブで、アンビエンスを高めます。

LARGE ROOM

大きなホールでの録音に適したルーム・サウンド。

LONG SPRING

長い、特徴的なスプリング・リバーブのサウンド。

DARK CHAMBER

長い残響音で、より暗い音色。

付録

テクニック、マイク、ミックス

PIANO

- Piano Pedal Up
- Piano Pedal Down

STRINGS

- Legato High
- Legato Low
- Long
- Long Flautando
- Long Viol
- Brushed
- Short Rounded
- Chimes

GUITAR

- Swells
- Shimmers
- Harmonics
- Plucked Bends
- Plucks

CONTRABASS CLARINET

- Long

- Stab

- Air

TUBAX

- Long

- Stab

- Air

MIX

- Mix 1

MICROPHONES

- Tape

- Close

- Mid

- Far

- Ribbon

- Listener

- Player

- Pedal

FAQとトラブルシューティング

Q: システム要件は何ですか？

⚠ 最新の対応状況については製品ページをご確認ください。

Q: プラグインの設定をデフォルトに戻したいのですが。

以下のディレクトリにある.settingsファイルを削除して、設定をデフォルトにリセットできます。

Mac

Users/<ユーザー名>/Music/Spitfire Audio

Windows

C:\Users\<user>\name\AppData\Roaming\Spitfire Audio

Q: プリセットのリストが空です。

ライブラリ・フォルダを移動した場合、Spitfire Audio Appの**Locate Library**機能を使用することで解決できます。ライブラリの再認証が必要な場合、Spitfire Audio Appの**Repair**機能を使用してください。

Q: ライブラリ左上に赤い感嘆符(！)が表示されています。

感嘆符をクリックすると詳細なログが表示されます。Spitfire Audio Appの**Repair**と**Locate Library**機能を使用して問題が解決する可能性があります。解決しない場合は、spitfireaudio.com/supportのサポートチーム(英語)までご連絡いただき、ログを添付してください。

Q: 複数台のコンピューターへのインストール。

弊社製品には2つのライセンスがあり、メインとモバイルの2台のコンピューターにダウンロード、インストールできます。ライブラリをハード・ドライブで購入された場合、Spitfire Audio Appでダウンロードを完了する前に、ドライブの内容をインストール先のマシンにコピーしてください。ライブラリをダウンロードした場合は、ライブラリ・フォルダを2台目のマシンにコピーし、Spitfire Audio Appの**Repair**と**Locate Library**機能を使用してください。

Q: Kontaktのサイド・パネルにライブラリが表示されない。


Spitfire Audio独自のアプリ(スタンドアローン、プラグイン)は、KontaktやNative Access上で表示されません。

Q: インターネットに接続されていないマシンでのライブラリ認証。

インターネットに接続されていないマシンでは当該ライブラリを認証できません。認証はインターネット接続されたマシン上でSpitfire Audio Appを通じて行います。

Q: 製品の再ダウンロード方法。

Spitfire Audio Appから行えます。ライブラリ全体のダウンロード、または最新のアップデートの両方をリセットする方法は次の通りです。

- Spitfire Audio Appを開き、アカウントのメール・アドレスとパスワードでログイン。
- 再ダウンロードしたい製品アートワークを選択。
- このページの歯車アイコン  から**Reset**を選択し、**Reset Entire Download**(フルダウンロードの場合)または**Latest Update**を選択。

これで最新のアップデートがリセットされ、再度インストールできるようになります。所有するすべてのライブラリについて、このプロセスを繰り返せます。

一定時間内にダウンロードをリセットできる回数には制限があります。リセットの制限を超えた場合は、ご連絡ください。

Q: ダウンロード／インストールの問題

ダウンロードの過程で問題が発生する場合があります。その場合、以下をご確認ください。

- ドライブのフォーマットがFAT32の場合、4GB以上のファイル・サイズは制限されているため、弊社の大きなダウンロード・ファイルがエラーの原因となります。ドライブを再フォーマットするか、別のドライブを使用してください。PCではNTFS、MacではMac OS Extendedをお勧めします。
- 私たちのライブラリが非常に大きなファイルであるため、Spitfire Audio Appが圧縮ファイルの展開やドライブへの配置を行うにあたり長い時間を要することがあります。クラッシュしたのか、ファイルの処理中かが判断しきれない場合は、インストール開始時に選択したインストール・フォルダにアクセスしてください。すべてが正常に動作している場合は、フォルダ(またはそのサブフォルダの1つ)にさまざまなファイルが表示されます。
- もしダウンロードが止まってしまったり、中断したまま再開されない場合は、spitfireaudio.com/supportのサポートチーム(英語)まで、お使いのオペレーティング・システム、お住まいの国、自宅か職場か、お使いのISP、お使いのコンピュータとインターネットの間にプロキシ・サーバーやファイアウォールがあるかどうかを合わせてお知らせください。

Q: ダウンロード速度について

私たちのライブラリはAmazon S3サーバーでホストされており、通常は非常に高速ですが、トラフィックが特に混雑する特定の時間帯に、ISPが接続速度を制限する可能性があります。

混雑の少ない時間帯にダウンロードを実行したままにしておくことで十分なダウンロード速度を期待できます。Spitfire Audio Appのダウンローダーは可能な限り帯域幅を使用し、最速の速度を提供することを目的としており、ピークに達するまでに数分かかる場合があります。

Q: 購入前のデモについて

現在、製品のデモは提供していません。

私たちのYouTubeチャンネルにアクセスすると、私たちのすべての製品に関する詳細な情報を含む多くのウォークスルーを見ることができます！

Q: Spitfire Audio Appにライブラリが表示されません

Spitfire Audio Appにログインして、**Installed**にも**Download Ready**にも購入済みの製品が表示されない場合、別のメール・アドレスで購入された可能性があります。過去に購入した他のメール・アドレスを確認すると、見つからない製品が見つかるかもしれません。そうではなく、数年前に購入された製品である場合は、サポート・チケットを作成し、お客様のアカウントのメール・アドレスと、紛失した製品に関連するシリアル番号をお知らせください。また、複数のアカウントを統合して、購入された製品をまとめることも可能です。

より多くの情報があればあるほど、迅速な復旧が可能となります！


Q: 製品のアップデート方法

弊社製品のダウンロードは、Spitfire Audio Appが選択したフォルダにダウンロードされることが大前提です。弊社製品に最適なファイル・パスはシンプルです。ただし長いファイル・パスを指定した場合はエラーの原因となることがあります。サンプル・ドライブ > Spitfire Audioのようなパスが理想です。

またダウンロードやアップデート時、Spitfire Audio配下の実際のフォルダを指定せず、Spitfire Audioフォルダ自体を必ず指定してください。

Q: 最新のアップデートの再ダウンロード方法

Spitfire Audio Appに、ダウンロードをリセットする機能が追加されました。

- Spitfire Audio Appを開き、アカウントのメール・アドレスとパスワードでログイン。
- 再ダウンロードしたい製品アートワークを選択。
- このページの歯車アイコン  から **Reset** を選択し、**Reset Entire Download** (フルダウンロードの場合) または **Latest Update** を選択。

これで最新のアップデートがリセットされ、再度インストールできるようになります。

他のアップデートについても、このプロセスを繰り返すことができます。

Spitfire Audio Appにダウンロードをリセットするオプションが表示されない場合は、spitfireaudio.com/info/library-manager/から最新版のアプリをダウンロードしてください。

Q: ダウンロード・リンクがなかなか送られてこない

当社では、すべての注文はまず不正チェック処理を経由しており、処理に20分ほど要します（ブラック・フライデーなどの繁忙期には1時間ほどかかることもあります）。この段階で注文が引っかかった場合、手動で注文チェックを行うため、注文処理は最大で24時間遅れる場合があります。

ご注文後、すぐに送付される注文確認メールは、お客様のご注文が弊社システムに正常に記録され、お支払いが正常に行われたことを確認するものです。サポートにご連絡いただく前に、迷惑メール・フォルダのご確認もお忘れなく。

Q: 異なるOS間でのデータの転送

はい、ライブラリ・フォルダを2台目のマシンにコピーし、Spitfire Audio App の**Repair**と**Locate Library**機能を使用できます。ダウンロードの大部分は別のマシンで行えますが、認証プロセスを完了するためにはインターネット接続が必要である点にご注意ください。

Q: Mac OSX 10.9でのダウンロード

本製品のインストールに必要なSpitfire Audio Appは、Mac OSX 10.10以降にのみ対応しています。

Q: バグの報告

バグを発見された場合は、関連する情報を添えてご連絡（英語）ください。

- 見つけたバグの説明
- バグが発生しているスクリーン・キャスト（ビデオ）、またはオーディオの例
- プリセット名やライブラリ名など情報が詳細であるほど、問題の真相を究明するのに役立ちます。

Q: 変更履歴（CHANGELOG）の所在

すべてのバグフィックスと改善点をリストしたHTMLの変更履歴は、製品のドキュメント・フォルダにあります。

Q: 払い戻し／返品ポリシーについて

ダウンロード／インストール・プロセスを完了しておらず、14日以内に購入された場合は、返金／返品が可能です。まだシリアル番号を登録していない場合であってもインストールを完了された場合、返金と返品をお受けできません（使用許諾契約をご確認ください）。ハードディスク・ドライブのご注文の返金は、ドライブが弊社から発送される時点まで可能です。これは通常、ご注文から数日を要します。

Q: パスワードを忘れてしまいました

パスワードをお忘れの場合は、spitfireaudio.com/my-account/login/の[forgot your password?](またはこれに該当する日本語表記)をクリックしてください。もし過去に2つ以上のアカウントの統合を依頼したが忘れてしまった場合、統合を依頼されたメール・アドレスでパスワードの再発行が機能しない可能性があります。この場合は、お名前と、弊社が知っていると思われるメールアドレスをサポートまでご連絡ください。

デフォルトのCCマッピング

CC#1	ダイナミクス
CC#7	グローバル・ゲイン
CC#10	グローバル・パン
CC#11	エクスプレッション
CC#17	リリース
CC#18	タイトネス
CC#19	リバーブ
CC#22	Mix 1
CC#23	Tape
CC#24	Close
CC#25	Mid
CC#26	Far
CC#27	Ribbon
CC#28	Listener
CC#29	Player
CC#30	Pedal

⚠ お使いのDAWや環境によっては、上記デフォルトのMIDI CC (コンティニューアス・コントローラ) と動作が合致しない場合があります。必要に応じて、環境にあった設定に調整してください。



Heirloom 日本語マニュアル

2024 ©Crypton Future Media, Inc.
2024 ©Spitfire Audio Holdings Limited All Rights Reserved.

2024/SEP issue

本書の一部またはすべてを、Spitfire Audio Holdings Limited、またその日本総代理店であるクリプトン・フューチャー・メディア株式会社に無断で複写、複製、転載、翻訳する事を禁じます。内容は予告無しに変更される場合があります。本書に記載されている会社名、商品名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

国内販売元: クリプトン・フューチャー・メディア株式会社

ホームページ: <https://www.crypton.co.jp/>